

もくじ



今月の表紙  
『たちばな呉服店』

事業所データ

◆代表者

たちばな まさのり  
店主 立花 政則

◆所在地

加古川市加古川町寺家町374  
(じけまち商店街)

◆電話

079-422-2695

◆表紙写真

①着物のことはお任せください

(立花政則さんと早苗さん)

②店舗は寺家町商店街東側入口からすぐ

③帯も色々な柄があります

④華やかな振袖

⑤詠えの草履とバッグです。バッグとお揃いの鼻緒も!

1 年頭のごあいさつ 加古川商工会議所 会頭 釜谷 和明

2 新年ごあいさつ 加古川市長 岡田 康裕

3 目次

4 特集 年男・年女に聞く ～今年の抱負～

9 会議所のうごき 経営計画策定のポイントを学ぶ  
—経営分析・経営計画策定セミナーを開催— 他

11 団体だより 異業種交流会・環境保全研究会・女性会・青年部

15 謹賀新年名刺広告

20 会議所からのお知らせ 年末調整のお手伝い 他

20 会議所カレンダー 「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



着物のトータルアドバイザー、  
「着物すがた」のお手伝いいたします!

1923年(大12)に立花栄次さんが開業しもうすぐ100年を迎えるたちばな呉服店。今は孫の政則さんがその歴史を守り続けています。

政則さんは「昨今、着物離れが進んでいます。七五三や成人式、結婚式などで着物を着ているのを見ると、人生の大きな節目には着物を着るといふ着物文化はまだ廃れていないと思います。いかに着物を身近に感じてもらえるかが大切です。最近では浴衣などを現代風にアレンジして着る方もおられ、アレンジには賛否ありますが、私は着物に親しんでいただけるのなら、それもあかなとも思います。とにかく着物に接する人の裾野を広げてほしいです」と、時代の変化のなかで伝統を守る難しさも感じています。

近頃、同店のホームページを通して多く寄せられる相談が、自分の着物を娘や孫に譲りたいが変色や汚れをどうしたらよいかというもので、政則さんも「良い染めの着物は一代で終わらせるのはもったいない。汚れやシミを綺麗にして、新しい寸法に仕立て直しなど、手元にある着物をお手入れやお直しをすることで、次代に受け継いでいくことができます。着物は新調しなくても、祖母・母の着物や帯に帯締め、帯揚げ、バッグなどの小物を合わせたという相談もあるんですよ」と、着物を箆笥に眠らせず活かしてほしいと言います。

また同店では妻の早苗さんが着付けを行っていて、新年会や同窓会などで来店される方もいるそうです。「着物は締め付けが苦しいというイメージがあると思いますが、私は『動きやすく崩れにくい』着付けを心掛けていて、お客様からも動きやすく楽だったと嬉しいお言葉をいただいています」と早苗さんも笑顔を見せます。

若い方にもっと親しんでほしいと願う政則さん。「今は草履も歩きやすいように幅広だったり、髪留めも洋風なデザインがあったり、反物や帯のデザインも豊富で、若い方でも選ぶ段階から楽しんでいただけます。同店のモットーは『着物すがたのお手伝い』です。販売から着付け・メンテナンスまで着物のトータルアドバイザーとして、お客様が相談してよかった、来てよかったと思っただけのよう、これからもお客様に寄り添ったお店であり続けます。着物に関するご相談はどつぞお気軽にご相談ください」

寺家町商店街の一角、立花夫妻の笑顔が醸し出す心地よさ溢れるお店で、久しぶりに着物に触れてみませんか?